

番号	1	令和4年度公共事業再評価調書			担当課名: 農地整備課	
事業名	畑地帯総合整備事業			事業主体	静岡県	
地区名	西浦みかん江梨			関係市町村	沼津市	
事業採択年度	平成24年度		計画期間	平成24年度～令和8年度		
再評価理由	事業採択(H24)後10年間の経過した時点で継続中		工事着手年度	平成25年度		
事業費 (百万円)	全体計画事業費		～R2年度	R3年度	R4年度見込	R5年度以降
	2,149		1,325	168	48	608
事業量	農道工 延長5,955m		2,866	923	292	1,874
	用水路工 延長875m		875	0	0	0
事業概要	<p>(1) 事業目的 本地区は、海岸線沿いの急峻な山間地に樹園地があり、農業生産条件は非常に悪い。このため、本事業により農道整備及び用水路整備を行い、営農条件が向上することで、農業経営の安定させ、担い手を支援することを目的としている。</p> <p>(2) 事業内容 受益面積 63.6ha 農道工 延長5,955m 用水路工 延長875m</p>					
【視点1】 事業の 必要性等	<p>(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 古くからみかん栽培が盛んな地域であり、県東部地域の主要な産地である。高品質な「寿太郎みかん」ブランドの産地として、令和2年11月にGI登録され、農家の生産意欲も高く、「寿太郎みかん」を生かしたコラボ商品や様々な加工品の開発が進んでいる。</p> <p>(2) 事業の投資効果 総便益 (B) : 49.26 億円 総費用 (C) : 27.74 億円 総費用総便益比 (B/C) : 2.0 経済的内部収益率 (EIRR) : 8.3</p> <p>(3) 事業の進捗状況 (R4年度見込) R5年度以降残事業 事業費ベース進捗率 : 71.7% (1,541/2,149) 農道 : 延長1,874m 事業量ベース進捗率 : 72.6% (4,956/6,830) 用水路 : 延長0m</p>					
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない				
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>幹線農道は全線用地買収が済み、約8割まで拡幅・舗装が完了しており、支線農道は令和4年度中に全路線の実施設計を終え、拡幅・舗装は約4割が完了している。用水路については、令和2年度までに全線施工済みである。令和8年度までに完了する見込みである。</p>					
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない				
【視点3】 コスト削減・ 代替案立案等 の可能性	<p>(コスト削減について) 農道の整備により発生した残土は、窪地のみかん畑等の埋め立てに活用し、優良農地への改良に活用している。また、近隣の条件が悪く耕作放棄地となっていた農地の再生などにも活用し、コストの削減を引き続き図っていく。</p>					
対応方針	<p>(1) 対応方針 本事業を ( 継続 ・ 見直し後継続 ・ 中止 ) する。</p> <p>(2) 理由 本事業により、通作や輸送の利便性が大幅に高まり、営農の継続、耕作放棄地の解消が図られている。また、用水路工の整備は既に完成したことで、防除作業の効率化が図られている。受益者は事業に対し協力的であることから、今後の事業進捗が見込まれるため、事業を継続する。</p>					

費用対効果の分析資料

担当部課名 農地整備課

事業名	畑地帯総合整備事業	地区名	西浦みかん江梨	(にしうらみかんえなし)		
効果の算定						
総 便 益 額 の 内 訳	品質向上効果 農道の整備により、悪路輸送による生産物（温州みかん等）の荷痛みが防止され、品質向上の効果が発生する。 [便 益] = 139,480 千円					
	維持管理費節減効果 農道整備により、維持管理する施設の延長や面積が増量するため、新たな維持管理費が発生する。 [便 益] = △ 643 千円					
	営農に係る走行経費節減効果 農道整備により、自宅から農地、農地から出荷場への距離短縮や車両改善によって走行経費の縮減効果が発生する。 [便 益] = 4,613,281 千円					
	営農経費節減効果 農業用水の整備による営農効率の向上等により、農作業時間の短縮効果が発生する。 [便 益] = 179,439 千円					
	維持管理費節減効果 用水路の整備により、維持管理する施設の延長や面積が増量するため、新たな維持管理費が発生する。 [便 益] = △ 5,549 千円					
	総便益	139,480 + 0 +	-643 + 0 +	4,613,281 + 0 +	179,439 + 0 +	-5,549 + + =
総費用の内訳	① 事業着手時の資産価額 4,470 千円 (既施設の資産額を減価償却により整理) ② 当該事業費 2,328,508 千円 (当該事業で整備する施設費用) ③ 関連事業費 0 千円 (当該事業に関連する施設の費用) ④ 評価期間における再整備費 446,548 千円 (工事期間+40年の評価期間内の再整備費) ⑤ 評価期間終了時点の資産価額 304,848 千円 (工事期間+40年の評価期間終了時の資産額) 総費用=①+②+③+④-⑤ 2,474,678 千円					
総費用総便益比						
①総便益	4,926,008 千円					
②総費用	2,474,678 千円					
総費用総便益比 =	1.99					